

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月12日

上場会社名 カワセコンピュータサプライ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7851 URL http://www.kc-s.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川瀬 康平  
 問合せ先責任者 (役職名) 最高財務責任者兼総務部長 (氏名) 梶山 伸夫 (TEL) 06-6222-7474  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績 (平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	2,519	13.3	41	—	72	—	61	—
26年3月期第3四半期	2,224	△9.3	△65	—	△45	—	△68	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年3月期第3四半期	12.88		—					
26年3月期第3四半期	△14.23		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	4,383	3,447	78.7
26年3月期	4,512	3,429	76.0

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 3,447百万円 26年3月期 3,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,100	2.2	12	—	32	—	17	—	3.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年3月期3Q	5,160,000株	26年3月期	5,160,000株
27年3月期3Q	428,247株	26年3月期	381,247株
27年3月期3Q	4,760,637株	26年3月期3Q	4,812,520株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動から回復の遅れや、夏場の天候不順、円安進行などを受けつつも緩やかな景気回復が続きました。

ビジネスフォーム業界におきましては、企業の経費削減による使用高の減少や、電子化による総需要の減少、競争激化による価格低下、円安や消費増税による原材料の値上がり等の影響を受け、厳しい状況が続いております。

このような情勢の中、営業部門におきましては、情報処理案件を重点項目として営業活動を行い、金融、通販業界や中央官庁、外郭団体を中心に既存案件の確保と新規取引先、新規取引部署の開拓に注力してまいりました。

生産部門におきましては、品質、生産性向上による利益確保を目指し、コスト意識やスキル向上のための教育に努めました。また、原材料の値上がりを踏まえ原材料使用高の低減にも努めました。

その結果、当第3四半期累計期間における業績は、売上高が2,519百万円（前年同期比は2,224百万円）、経常利益は72百万円（前年同期は45百万円の経常損失）、四半期純利益は61百万円（前年同期は68百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① ビジネスフォーム事業

企業のコスト抑制による需要の減少、価格競争激化の影響があったものの、既存取引先へより一層の深耕活動等や新規取引先の獲得もあり、売上高は、前年同期と比べ144百万円増加の1,624百万円（前年同期は1,479百万円）となりました。セグメント利益は209百万円の利益（前年同期は150百万円）となりました。

#### ② 情報処理事業

金融関連の総需要量の減少並びに電子化の進行の影響は大きいものの、新規案件獲得等に幅広く活動しました結果、売上高は、前年同期と比べ151百万円増加の895百万円（前年同期は744百万円）となりました。セグメント利益は81百万円の利益（前年同期は42百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における流動資産は前事業年度末と比べ119百万円減少し、2,431百万円となりました。これは主に「受取手形及び売掛金」が51百万円、「商品及び製品」が13百万円それぞれ増加し、「現金及び預金」が196百万円減少したことによるものです。

固定資産は前事業年度末と比べ10百万円減少し、1,951百万円となりました。これは、「投資その他の資産」に含まれる「投資有価証券」が76百万円、「保険積立金」が30百万円それぞれ増加し、「有形固定資産」及び「無形固定資産」の減価償却等の影響により「有形固定資産」が97百万円、「無形固定資産」が18百万円それぞれ減少したことによるものです。

流動負債は前事業年度末と比べ112百万円減少し、753百万円となりました。これは主に「買掛金」が37百万円、「短期借入金」が40百万円と「その他」に含まれる「未払金」が30百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定負債は前事業年度末と比べ33百万円減少し、182百万円となりました。これは主に「その他」に含まれる「リース債務」が37百万円減少したことによるものです。

純資産の部は前事業年度末と比べ17百万円増加し、3,447百万円となりました。これは「その他有価証券評価差額金」が15百万円、「利益剰余金」が13百万円増加し、「自己株式」の取得11百万円によるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の見通しにつきましては、現時点における修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### 3. 四半期財務諸表

#### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,909,483	1,712,850
受取手形及び売掛金	549,030	600,283
商品及び製品	32,230	45,689
仕掛品	8,358	6,749
原材料及び貯蔵品	22,493	25,946
その他	29,587	40,617
貸倒引当金	△145	△159
流動資産合計	2,551,038	2,431,977
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	379,199	357,742
土地	523,057	523,057
その他(純額)	413,412	337,288
有形固定資産合計	1,315,670	1,218,089
無形固定資産	64,299	45,522
投資その他の資産	581,421	687,662
固定資産合計	1,961,391	1,951,273
資産合計	4,512,429	4,383,251
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	181,666	143,909
短期借入金	436,640	396,640
未払法人税等	6,393	13,509
賞与引当金	44,690	20,879
その他	196,574	178,104
流動負債合計	865,965	753,042
固定負債		
長期借入金	13,360	8,380
退職給付引当金	44,242	50,978
役員退職慰労引当金	33,979	28,855
その他	124,963	94,348
固定負債合計	216,546	182,561
負債合計	1,082,511	935,604
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,226,650	1,226,650
資本剰余金	1,172,655	1,172,655
利益剰余金	1,104,593	1,118,110
自己株式	△93,824	△105,104
株主資本合計	3,410,074	3,412,311
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,844	35,335
評価・換算差額等合計	19,844	35,335
純資産合計	3,429,918	3,447,647
負債純資産合計	4,512,429	4,383,251

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	2,224,086	2,519,597
売上原価	1,611,022	1,835,477
売上総利益	613,064	684,120
販売費及び一般管理費	678,355	642,195
営業利益又は営業損失(△)	△65,290	41,925
営業外収益		
受取利息	186	639
受取配当金	1,972	2,403
助成金収入	12,432	12,128
保険差益	-	15,419
その他	14,193	8,061
営業外収益合計	28,785	38,653
営業外費用		
支払利息	8,405	6,989
その他	362	752
営業外費用合計	8,767	7,741
経常利益又は経常損失(△)	△45,273	72,837
特別利益		
固定資産売却益	-	61
特別利益合計	-	61
特別損失		
固定資産除却損	20	-
投資有価証券評価損	3,946	-
社葬費用	11,277	-
その他	1,277	-
特別損失合計	16,521	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△61,794	72,898
法人税、住民税及び事業税	6,709	11,593
法人税等調整額	-	-
法人税等合計	6,709	11,593
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△68,503	61,305

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ビジネスフォー ム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,479,732	744,354	2,224,086	—	2,224,086
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,479,732	744,354	2,224,086	—	2,224,086
セグメント利益又は損失(△)	150,466	42,895	193,361	△258,652	△65,290

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期財務諸表の営業損失と調整を行っています。

II 当第3四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ビジネスフォー ム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,624,071	895,526	2,519,597	—	2,519,597
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,624,071	895,526	2,519,597	—	2,519,597
セグメント利益又は損失(△)	209,637	81,001	290,638	△248,713	41,925

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期財務諸表の営業利益と調整を行っています。